

白熱!! 砂上の格闘技

第9回RABビーチサッカー 青森県大会inこどもり



激しい争奪戦!



熱が入る応援団



シュート!!



女子も熱い戦いをしています!



審判のみなさん、おつかれさまです

7月18日(土)、19日(日)の2日間、小泊地域の折腰内ビーチで「第9回RABビーチサッカー青森県大会inこどもり」が、約1200人の参加者を集め開かれました。

両日ともあいにくの天気でしたが、関係者の苦勞もあり無事開催され、選手の白熱した戦いに、観客も熱い声援を送っていました。特に中学生の部では、お父さん・お母さんの応援が、随分ヒートアップしていました。

一般の部優勝チームは、沖縄で行われる全国大会出場の切符を獲得しています。

一般の部	優勝	おやじっち	つがる市
	準優勝	MAD DOGS	つがる市
	3位	Armada	弘前市
	4位	Glitter ☆ person's	鶴田町

中学生の部	優勝	TATEOKA FC U-15	五所川原市
	準優勝	TOROTYANS	青森市
	3位	弘前市立第二中学校サッカー部	弘前市
	4位	セリティック	板柳町

女性の部	優勝	SHRINE.L.FC A	板柳町
	準優勝	SHRINE.L.FC B	板柳町
	3位	さんきゅうべりまっちょナカスポ	八戸市
	4位	ちびまっちょナカスポ	八戸市



優勝の歓喜!!



勢田気を盛り上げるフラッグ

ま ち の 話 題

リサイクルの大切さ身近に

薄市小児童が

ごみとリサイクルを学習

7月9日(木)、薄市小学校4年生の児童16人が、ごみとリサイクルについての授業を、町役場職員を講師に迎えて行いました。

イオキシシが発生するの?」「ダイオキシシは何種類あるのか?」といった専門的な質問が出され、講師の泉補佐も科学者ではないので答えに困っていました。

講師役となった環境衛生課の泉課長補佐は、これまでも学校の学習会で講師を務めてきており、町のごみやリサイクルの問題に取り組んできたベテランです。

授業では、町のごみ処理・リサイクルの現状や、ダイオキシシが発生しない温度を解説するなどした後、リサイクルの仕組みをわかりやすく教えました。

児童たちからは、「どうして800℃以上で燃焼するとダイオキシシが発生しない?」「プラスティックからは、なぜダ



また、各資源ごみが何の製品に変わるかの説明では、ペットボトルが自分の着ているトレパンなどの繊維に変わることを知り、驚いていました。

この学習会は、10月に中里小学校でも開かれる予定です。

光の競演 暗闇のほそりに歓声響く

ホタルまつりinなかどまり



ホタル…なんですが、分かりますか？

今年で4回目となる「ホタルまつりinなかどまり」が、7月10日(金)、11日(土)の2日間、滝ノ沢ふるさと砂防愛ランド付近の「ホタルの里」で約750人の鑑賞客を集めて行われました。ホタルを守り育て、4回目の開催にこぎ着けた荒閑壽久実行委員長によると、昨年秋と今年春の大雨によって幼虫が流され、開催が危ぶまれたとのこと。昨年よりは少なくなりましたが、今年もホタルの光が見られたので「安心だったようです。また、今年からは「ホタル募金」箱を



ホタルの工サ カワニナの放流

設けて運営費確保を図ったり、土・日開催を金・土開催に変更して集客につなげようという試みが行われ、関係者の方々の努力が見えるまつりでした。会場では一般客のほか、津軽

海の事故防止と 安全な救助を学ぶ

夏休みを前にした7月1日(水)小泊小学校で海難事故防止を目的にした出前講座が、青森海上保安部の呼びかけで行われました。この講座は、海に潜む危険を事前に防ぎ、どうやって海の危険を察知・回避するかを具体的に



たくさんの方がいらっしかったです

鉄道が運行した「ホタル列車」で訪れた団体客などが、トレインアテンドメントとともに訪れ、出店の食べ物や飲み物などを買い求めながら、思い思いにホタルの出現を待ちました。開会式に先立ってホタルのえさとなる「カワニナ」の放流が

にわかりやすく教える目的で、県内の学校で行われています。この日やってきた海上保安官は5人。低学年には、紙芝居を使ってわかりやすく説明し、高学年にはビデオを見せて「離岸流(岸から離れていく流れ)」の恐ろしさと脱出法を解説しました。離岸流に逆らって泳ぐことはオリンピック選手でも不可能



行われ、開会式が終了した後、午後8時ごろになるとホタルの光が舞い始めました。あちこちから「うわー」「きれい」などといった歓声が聞かれ、約2週間で命が尽きるホタルのはかない光を満喫していました。で、岸と平行に泳ぐことが脱出につながるそうです。後半は、海上保安官と児童たちによる救助の実演を行いました。演技の滑稽さもあって笑いが絶えない講座でした。海上保安官の皆さんが口々に言っていたのは、「とにかく落ち着くこと」だそうです。事故にあった際は、まず落ち着くことを心掛けましょう。

明るい社会の 構築を目指して



7月1日(水)、役場玄関前で「社会を明るくする運動」のメッセージ伝達式が行われました。保護司の菊池愛子さんと小寺照義さんから、法務大臣と県知事のメッセージが伝達された後、町内の小・中・高校などを回り、社会を明るくする運動のPRを行いました。犯罪や非行を防止し、安心して暮らせる地域を目指して行われているこの活動は、今年で59回を数える息の長い運動となっています。